

学び合い・つながり合い・鍛え合いのある学校

学校だより  
3月  
最終号

ながい

【学校教育目標】

- ◎ 明るい子
- ◎ 考える子
- ◎ たくましい子

熊谷市立長井小学校長 福島 智

URL: <http://www.menuma-nagai-e.ed.jp/> Email: [nagai@wit.ocn.ne.jp](mailto:nagai@wit.ocn.ne.jp)

交流力 アップ = 交流の中から学び取った力を生かして



早朝の挨拶運動 ←

学校の周りでは、寒さに負けず、木々の芽生えや春を告げる鳥のさえずりなど、待ち望んでいる春の訪れが、着実に近づいています。

この1年、毎朝元気に登校し、笑顔で挨拶を交わし、外遊びで交流を深め、汗を流すほど運動していました。大きな声で返事をし、自分の考えを発表する子たちの授業の様子がさらに増えてきました。

今月は、卒業の時、また、1年のまとめの月です。本校では、6年生57名が卒業し、291名の在校生が進級します。新1年生は51人になる予定です。いよいよ卒業式・修了式に向けて、1年を修める、または、6年間で修めるにふさわしいやる気と粘り強さを発揮するときです。この1年間を象徴しているかのような心地よい緊張感と上手につきあってください。おうちの人や地域の方もきっと、「ずいぶん成長したな」と感じてくれることと思います。そうした多くの交流の中から学んだ力を使って、きちんとしたまとめをしていきます。

今年度のご理解ご協力に感謝いたしますと共に、来年度も、どうぞよろしくお願いいたします。

今年も心地よい感動をありがとう — 中学生の迫力や高い理想に学ぶ —

小中一貫教育の場づくり

【妻沼東中吹奏楽部との交流 3年目】

2月22日第5校時、妻沼東中吹奏楽部の皆さんに本校で演奏していただきました。全校児童と希望した保護者の方に貴重な機会となりました。中学生が本格的な演奏を披露してくれることで、圧倒され、尊敬の念を抱き、自分の将来の夢への架け橋にもなってくれました。子どもたちには中学生は近い存在です。しかし、あまり違わない年齢なのに、すごくきちんとしていて、あこがれにもなります。その証拠に、小学生のまなざしがとても輝いていました。妻沼東中吹奏楽部の皆さん、柏瀬校長先生をはじめ、指導者の先生方に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



## 【3月の主な行事予定】

日	曜	主な行事
1	水	6年生を送る会 ながいっ子タイム
2	木	アルミ缶回収 委員会
3	金	登校指導 アルミ缶回収 6年出前授業※1
4	土	
5	日	
6	月	6年薬物乱用防止教室
7	火	全校朝会
8	水	登校指導 ながいっ子タイム
9	木	
10	金	ワックス塗り ストープ片付け
11	土	
12	日	
13	月	特別日課 通学班会議 一斉下校
14	火	特日5 児童集会
15	水	特日5 ながいっ子清掃
16	木	特日5 中学校卒業式

17	金	特日5 卒業式予行
18	土	
19	日	
20	月	春分の日
21	火	給食最終日
22	水	特日3 登校指導 5年弁当持参 6年修了式
23	木	第70回卒業式1・2年臨時休業日
24	金	特日3 修了式 6年臨時休業日
25	土	
26	日	
27		学年末休業日 (3/27~3/31)
4月		(主な予定)
6日		新6年生登校日 8:40
10日		前期始業式 入学式 10:30
15日		PTA理事会 9:00
21日		授業参観・PTA総会
		※1 出前授業は、中学校の先生が英語や理科を教えてください。



### 【資源回収の御礼】

年間3回の資源回収では、地域や保護者の皆様からたくさんの協力をいただいています。また、ベルマークの回収・集計も本校ではきちんと行われ、学校教材等と引き替えをしています。今年も昨年度と同じカラーコーンを補充することができました。感謝申し上げます。

※資源回収の年間報告は後日行います。

### 【心を磨く】今年度最終回は、6年1組担任：千代山奈生子先

先日、6年生と保護者を対象に「いのちの授業」が実施されました。ピンクリボンの会の方たちに来校していただき、お話を聞くという内容です。

乳がんを克服された方、乳がんの治療をされている方、7歳の娘さんをがんで亡くした方の話は、子どもたちの心に染み込んでいったようです。中でも、心に残った言葉は、「今、生きているということは奇跡」でした。毎日、私たちの体の中では、免疫力が、5000個のがん細胞と戦って、5000戦5000勝しているからです。本当に、生きていられることに感謝です。

子どもたちの会話の中では、悲しいかな「死ね」とか「消えろ」という言葉が聞かれます。その言葉の持つ意味を考えると、決して言えない言葉です。「言葉は人を表す」と言うのでしょうか？子どもたちもそうですが、教師である私自身も自らの言葉を点検していかなければならないと感じています。やはり、言われて嬉しい言葉を言える人になりたいですね。

さて、「いのちの授業」の後に、子どもたちが綴った日記には、『一日一日を大切に生きなければいけないなと思いました。(7歳で亡くなった)女の子のように、明るく、前向きに生きていきたいです。』とありました。どんな命も大切にできる人になって欲しいと願っています。

